

PART 3

セバレートエアコンシステム e-comfort

キャンピングカー専用開発された “イーコンフォート”の魅力

快適な室内空間を実現する 画期的なエアコンシステム

東和モーターズ販売が新たにリリースしたキャンピングカー専用エアコンシステム。それが「イーコンフォート」だ。キャンピングワークス、韓国国立慶北大学自動車工学部（監修は Park Byung-Duck Professor）と産学共同開発したこのシステムの特徴は、家庭用エアコンでありながら室外機をルーフに設置できることにある。通常、エアコンの室外機は縦置きしかできないのだが、横置きで使用できるように改良。これにより、収納を一切犠牲にすることなく家庭用エアコンを装備すること

が可能となった。また、すでに所有のキャンピングカーに後付けができることもこのシステムの特徴である。

これらの恩恵を大きく受けることができるのが輸入車。東和モーターズ販売で扱っているデスレフなど、ルーフエアコンの設定しないモデルの場合、電力量の関係から従来は発電機が必要となっていたのだが、イーコンフォートはバッテリーで稼働することが可能となるのだ。

エアコン本体は日本製を採用。国産ならではの高性能と信頼性があることはもちろんだが、省電力性能も優れているため、少ない電力で長時間の稼働が可能。例えば、トリプルバッテリーがあれば一晩中でも稼働できるほど。ほかにも高い静音性やドライなどの充実した機能も家庭用エアコンを導入するメリット。また、天井に大きな開口部がないため、水漏れの心配がないこともうれしいポイントとなる。室外機は専用のステーでルーフに固定し、FRP製カバーを取り付ける。カバーはキャンピングカーにマッチするエアロフォルムを採用している。価格は国産車用の2・2kWが35万円＋税、輸入車用の2・8kWが50万円＋税となる。工賃は別途必要だが、同社で購入したデスレフのみ工賃込みとなる。

夏を涼しく乗り切る!



e-comfort の室外機

横置きができるように改良されたイーコンフォートの室外機。エアロフォルムのカバーは輸入車だけでなく、国産のキャブコンなどにもマッチするようにデザインされている。



ガスチャージやメンテナンス、保証など、アフターフォローもしっかりと行いますと広報の佐藤さん。

←通常のエアコンの室外機

→通常のルーフエアコンと室外機



右が従来型ルーフエアコン。消費電力が多いため発電機が必要になってしまうほか、稼働音や故障、水漏れなどの心配がある。また、家庭用エアコンの室外機（左）は、車内の収納が犠牲になってしまう場合が多いのだ。



ヴォーン・ズィーベンディーシー

Wohn SIEBEN DC の場合



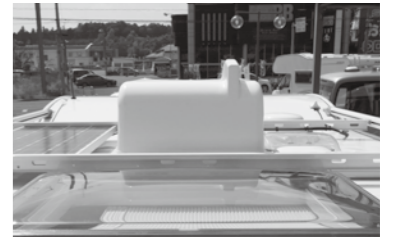
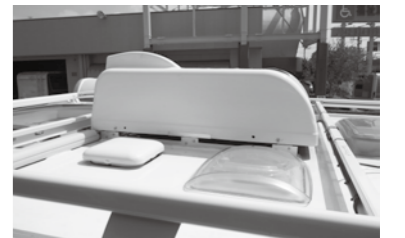
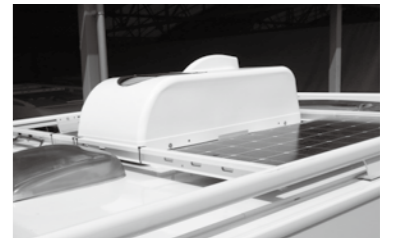
国産のキャブコンなどにもイーコンフォートは取り付け可能。ただ、施工実績がないモデルも多いので、装着を希望する人はまず連絡をすといいたろう。エアコン本体は国産メーカー製を使用しているため信頼性や省エネ性能が高いことはもちろんだが、多機能リモコンを装備するなど利便性も高い。なお、ヴォーン・ズィーベンDCにはイーコンフォートが標準で装備される。



デスレフ グローブフォー

Dethleffs GLOBE 4 / GLOBEBUS 11 の場合

Dethleffs GLOBE 4



Dethleffs GLOBEBUS 11



イーコンフォートのメリットを大きく受けられるのが輸入車。省エネなのでバッテリーでの稼働が可能ながら、収納を一切犠牲にすることなく、後から取り付けられるのだ。

